No.194
令和8年11月1日

こんにちは!

しばた議会です



☆9月会議

・一般会計補正予算 (P2~P3)
・決算審査特別委員会徹底検証と認定 (P9~P14)

☆委員会リポート

・所管事務調査、行政視察の報告 (P17~P19)

表紙の写真について ➡ 裏表紙P20

「議会ネット中継」はこちらから

期間：9月1日～9月17日

へ挑戦し持続可能なまちへ

９月会議は、石森新町長の体制となって、初めての令和７年度決算審査を含めた会議でした。

町長の所信表明では、町政に対する今後の運営方針と施策の方向性が示されました。

一般会計補正予算では、８月と９月の大雨への対応及び災害復旧を含めた大幅な増額補正となりました。

補正予算の財源の７割以上を財政調整基金（貯金）の取り崩しが占めており、今後も難しい財政運営が見込まれています。

議案第10号　旧槻木事務所解体工事請負契約

7788万円

質疑　解体後の土地利用は。

答弁　借地のため、更地に戻して土地所有者に返還となる。所有者側の具体的な利用計画はまだ示されていない。

質疑　解体工事予算額が約９０００万円だったが１２００万円近く工事費が低くなった理由は。

答弁　公共単価の積算で予算組みをしており、制限付き一般競争入札とした結果、金額が下がった。



解体工事が進む旧槻木事務所（令和9年工事完了予定）

議案第12号　町道路線の認定

質疑　四日市場１号線と接続する新設道路の高さは、令和元年台風19号時の浸水を踏まえた高さとなるのか。また接続する県道52号線の交差点と路面の高さは、同じになるのか。

答弁　既存道路は約20㎝冠水した。新設道路は、既存より30㎝高く設計し、台風19号の降雨量なら路面が10㎝出る見込みとなっている。また、県道52号線の交差点と接続する新道は少し低い路面設計となっている。



計画中の町道四日市場28号線（令和15年完成予定）

人事案件

○人権擁護委員の推薦に同意

伊藤（いとう）佐和子（さわこ）氏（再任・槻木下町）

伊藤（いとう）良昭（よしあき）氏（新任・四日市場）

○教育委員会委員の任命に同意

中里（なかざと）寛（ゆたか）氏（再任・西船迫）

石森（いしもり）靖明（きよあき）町長　所信表明（概要）

町政運営方針

1. 町民の皆様とともに創るまち
2. 未来へ挑戦する町政
3. 持続可能な町政

施策の方向性

1. 子育て・教育環境の充実
2. 地域交通と安全・安心な暮らしの確保
3. 地域経済の活性化と均衡のある発展
4. 持続可能な行財政の運営
5. 協働によるまちづくり



石森町長

議案 9月会議 審議

新体制の町政運営方針

町民と創るまち・未来

議案第14号・第20号　令和8年度一般会計補正予算

9月一般会計補正予算で5億969万円を追加し、総額が165億7563万円となりました。総務、民生、衛生、土木、教育など各分野の事業費を増額するとともに、8月と9月の大雨への対応及び災害復旧に要する経費も補正が行われました。

主な歳出項目	補正前	補正額	合計額
総務費（基金積立、人件費、他）	24億7764万円	1億1091万円	25億8855万円
民生費（障害者、児童福祉、後期高齢者支援など）	52億5203万円	5495万円	53億698万円
衛生費（中核病院負担金など）	16億2901万円	5377万円	16億8278万円
農林水産業費（農業振興、水利、林業など）	4億32万円	2257万円	4億2289万円
商工費（観光物産協会支援など）	1億8893万円	2867万円	2億1760万円
土木費（道路維持、内水対策など）	19億7087万円	9685万円	20億6772万円
教育費（学校施設、人件費など）	18億4150万円	2934万円	18億7084万円
公債費（償還金利息など）	15億3251万円	1520万円	15億4771万円
予備費（防災などの予備財源）	3000万円	3000万円	6000万円
農林水産・土木施設災害復旧費	0円	6091万円	6091万円

減額　1億2817万円

地方交付税の減

質疑　大幅減額となった理由は。

答弁　町税・地方消費税交付額が増加し、収入額の伸びが需要額の伸びを上回ったため減額となった。

増額　700万円

地上デジタル放送送受信機器更新工事

質疑　なぜこのタイミングで更新となったのか。

答弁　平成22年に設置の機器が耐用年数を超過し不具合が生じつつある状況のため更新となった。

増額　2905万円

公園緑地費委託料

質疑　公園樹木等管理委託とさくら育成管理委託の違いは。

答弁　公園樹木管理は桜以外の樹木剪定など。さくら育成管理は桜の剪定・育成に特化している。

増額　5198万円

みやぎ県南中核病院の負担金

質疑　負担金が増えた理由は。

答弁　主に産婦人科分娩の再開による医師派遣費や管理費が増えたため。

増額　800万円

ツキノワグマ誘引木伐採業務委託料

質疑　伐採本数の見込みは。

答弁　入間田、葉坂、成田、富沢、上川名、四日市場などを対象とし約160本を予定している。

増額　862万円

船岡中学校屋上防水改修工事

質疑　工事の必要性と授業への影響は。

答弁　雨漏り発生後に亀裂を確認したため工事が必要となった。授業に支障が出ないよう学校と調整しながら工事を進める。

一般質問

我が町政を問う

議員18人のうち11人が質問し、町に対し提案などを行いました

「一般質問」という言葉を聞いたことはありますか？ これは、議員が町政全般について、進捗状況を確認したり、新しい提案を行ったりするものです。いわば、町民の皆さんの「ギモン」や「願い」を町長に直接質問する大切な時間です。

小田部峰之 議員 P5

投票所統合による影響は
- 旧スロープカー車両活用のその後
- ふるさと納税制度改正への対応は

吉田　謙治 議員 P5

大地震に備えた町の対応を問う

吉田　　清 議員 P5

はなみちゃん GO の利便性向上を

笠松　　均 議員 P6

手ぶら登園サブスク導入を

大橋　武彦 議員 P6

子どもの声が町へ届く道を

吉田　和夫 議員 P6

災害井戸に助成制度を

山本由香里 議員 P7

故障による給食停止時の対応は
- 町保育所へ紙おむつサブスクを

白内恵美子 議員 P7

住民との協働による水害対策を
- 視覚障害者福祉大会決議の尊重を
- 災害時の優先避難所の増設を
- 新公共図書館政策論を運営指針に

安藤　義憲 議員 P7

新町長に町政運営の思いを問う

平間　俊博 議員 P8

町道の現在の維持管理方法は

平間　康弘 議員 P8

企業誘致に向けた町の政策を問う
- 白幡橋槻木側に横断歩道の設置を



Q 投票所統合による影響は

A 投票への大きな影響はなかった



小田部峰之（おたべ みねゆき）議員

問 **投票所を14箇所に統合したことで、有権者に与えた影響は。**

答 統合は順調に進められたと認識している。令和８年７月12日執行の、町長選挙及び町議会議員補欠選挙の投票率は43・29％。一方、平成26年７月６日執行の町長選挙の投票率52・37％と比較すると９・08ポイント低下した。今回の投票率は、これからの町の舵取り役である、町長を選ぶ選挙の投票率として、決して高かったとはいえない。昨年の町議会議員選挙と比較しても、０・44ポイント上昇で大きな影響はない。

問 **一部の地域では今回の統合により近所に投票所がなくなった影響で、投票を断念した方が少なくとも４名いたと聞いた。このような方への対応は。**

答 大変申し訳なく思うが、今のところ、移動投票所や臨時巡回バスなどの考えはない。



町の未来を考え
大切な一票を

Q 大地震に備えた町の対応を問う

A 防災情報提供と防災力向上に励む



吉田（よしだ） 謙治（けんじ）議員

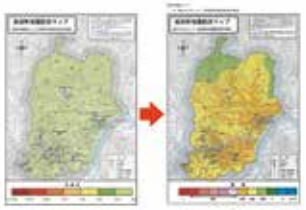
問 **地震発生時に、近隣市町村よりも低く計測されることが多い柴田町の震度計の数値は適正なのか。**

答 町の震度計は気象庁が定める厳格な設置基準に基づき令和７年度に更新されている。定期点検は隔年ごとに専門業者が実施しており、機器の精度や観測システムに問題はない。

問 **町の地震防災マップを「宮城県第五次地震被害想定調査報告書」をもとにした地震被害マップへと更新し、わかりやすく見ることはできないのか。**

答 町のホームページ上にある地震防災マップを「揺れやすさマップ」に修正し掲載をした。

今後予定している地域防災計画の改訂に合わせ、第五次地震被害想定調査報告書に基づいた情報を踏まえ、地震ハザードマップの更新に向けて調査・研究を行っていく。



地震防災マップが
更新されました

Q はなみちゃんGOの利便性向上を

A 朝８時～９時の便を１台増便する



吉田（よしだ） 清（きよし）議員

問 **はなみちゃんGOの利用について、「午前中の予約が非常に取りづらい。病院の会計時間が読めないため、予約が極めて難しく使い勝手が悪い。やむを得ず、往復タクシーを利用せざるを得ない」との指摘をいただいている。予約受付できなかった件数はどれくらいあるか。**

答 多い日には20件ほどあり、朝の９時～10時に集中している。

問 **予約集中を緩和するため、予約時にあらかじめ通院など、時間が決まっている方を最優先枠とし、買い物や時間の調整が可能な方に対しては午後の便に案内できないか。**

答 提案のとおり、分散化を図っていく。

問 **高齢者の移動手段の確保に向け、予約集中の緩和策は。**

答 午前８時～９時の便に小型タクシー１台を増便し対応する。



高齢者の移動手段の確保を

Q 手ぶら登園サブスク導入を

A 現場の声を参考に調査研究をする

笠松（かさまつ）　均（ひとし）　議員



問 **本町の保育士確保の現状は。**

答 今後、公立保育所等の民営化を推進していく方針としており、正規職員の保育士の採用人数を必要最小限に抑える。また、不足する職員数については、会計年度職員により必要な人員を確保し、適正な配置を行いながら保育体制の維持に努める。

問 **紙おむつの※サブスク導入について、本町ではどのように認識しているか。**

答 保護者が、紙おむつに名前を記入したり、毎日持参する負担などを減らすことができるサービスと考える。紙おむつを必要とする子どもの保護者全員がサブスクを利用すれば業務の効率化が図られるが、一部の保護者のみが利用する場合と区別して管理する必要があり業務が煩雑になる。保育現場の声を参考に調査研究する。



保護者の負担軽減を

※サブスク（サブスクリプション）とは、定額料金を支払うことで、１日に何枚でも使えるサービスです。

Q 子どもの声が町へ届く道を

A 総合学習の充実で実現可能



大橋（おおはし）　武彦（たけひこ）　議員

問 **町民と共につくる町とは、声を聞くだけでなく、町政に生かし、結果を返すまで含むのか。**

答 結果を町民と共有し、はじめて、町民と共につくるまちづくりになると考える。

問 **選挙権を持たない子どもや若者の声も、町民の声として、町政にも生かしていく考えか。**

答 全行政区のタウンミーティングに子どもや若者の参加も促し、その声を拾い上げていく。

問 **全中学生が町の未来を考え、代表が町へ提案する全中学生参加型未来会議を実施できないか。**

答 地域の課題を考え、行動する学習は既にあり、学校教育での実施は考えていない。

問 **今ある学びをさらに発展させ、子どもの声を町政につなぐ道をつくることはできないか。**

答 提案を否定するものではない。総合学習を充実すれば、実現は可能だと考える。



未来会議を本町でも
（生成 AI 画像）

Q 災害井戸に助成制度を

A 助成制度の導入は難しい

吉田（よしだ）　和夫（かずお）　議員



問 **地域から要望があった場合、利用可能な井戸を「防災井戸」として認定し、助成できないか。**

答 災害時における個別の井戸の必要性は以前に比べると低下している。限られた財源の中で、効率的な防災・減災対策を講じる観点から、新たに助成制度の導入は難しい。

問 **東日本大震災時における生活用水の教訓は。**

答 教訓として、本町は公益社団法人日本水道協会の正会員となっており、地震などの緊急時には他自治体から給水や復旧の支援を受けられる相互応援体制を構築している。

問 **水道管の「耐震管」の普及率は。**

答 西船迫四丁目地区や船岡土手内地区など、延長約１㎞の布設替工事を進めており、年度末での普及率は38・３％となる見込みである。



災害に備え井戸の
活用を

Q 故障による給食停止時の対応は

A 弁当持参をお願いせざるを得ない



山本由香里（やまもと　ゆかり）議員

問 **現在の学校給食センターは老朽化が進んでおり、昨年度は設備の故障により、6日間給食の提供ができない事態が発生した。給食が停止した場合の対応をどのように考えているのか。**

答 短期間の場合は、ごはん・パン・牛乳の提供が可能な場合は、おかずのみ持参の協力をお願いする可能性がある。期間が長くなる場合は、弁当持参をお願いせざるを得ない。

問 **給食提供の協力について、近隣市町と協議する考えは。**

答 今年の1月に仙南2市6町に給食提供の可能性について調査したが、アレルギー対応や余剰食数の限界、事故発生時の責任の所在を考えると困難である。

問 **老朽化した施設に不安はないか。**

答 築46年の重さを感じているが、今は現施設の日々の点検とメンテナンスを徹底している。



安全安心な給食提供を

Q 住民との協働による水害対策を

A 協働の流域治水を推進していく



白内恵美子（しらうち　えみこ）議員

問 **今後の水害対策は、行政だけで取り組むのではなく、住民を交えて協働すべきでは。**

答 水害に強いまちづくりは、行政の力だけでは成し得ない。地域の皆様や関係機関としっかりと手を携え、情報を共有し共に考え行動する、協働の流域治水を推進していく。

問 **7年にわたり住民が積み重ねてきた知見を、今後の水害対策に生かすべき。総合計画案を固める前に、被災された方々との丁寧な話し合いを提案する。**

答 被災された皆様の経験や知見は、防災・減災対策を進める上で大変貴重な財産である。

一方で、総合計画は、町全体のビジョンや多岐にわたる意見を広く包括的に伺う形式を取らざるを得ない。これまでに住民懇談会などで頂いたご意見や知見は、防災・減災施策の推進に引き継ぎ反映させていきたい。



床上浸水51㎝の跡が残る障子

Q 新町長に町政運営の思いを問う

A 住んで良かったと思える町に



安藤　義憲（あんどう　よしのり）議員

問 **町政運営への思いや公約などを改めて町民に示されたい。**

答 対話、挑戦、持続可能な町政の三つの基本姿勢のもと、子育てや教育環境の充実、地域交通の確保、地域経済の活性化などに重点的に取り組み「柴田町に住んで良かった」と思えるまちづくりに果敢に挑戦する。

問 **前町政からの課題である学校給食センター建設は。**

答 令和8・9年度に建設候補地等を検討し、10年度に基本計画、11年度に実施設計、12年度の着工を目指す。一日に2500食の調理能力と約5千㎡の敷地を想定し、財政状況を注視し進める。



建設が待たれる学校給食センター

Q 町道の現在の維持管理方法は

A 年間を通し点検補修している



平間（ひらま）　俊博（としひろ）　議員

問 **町民からの道路通報をどのように管理し対応しているのか。**

答 要望の確認や維持補修作業で現場に出向く際に異常箇所を確認し、日常的に実施している。

問 **町道の修繕はどのような基準によって優先順位を決定しているのか。**

答 事故などの重大性、通学路の交通量、周辺施設への影響や劣化の状況などを総合的に判断し、優先順位を決めている。

問 **町として町道葉坂11号線の地域住民からの要望はどの程度把握しているのか。**

答 地域からは砕石の流失や砕石面の陥没などにより路面の平たん性が損なわれている現状などの要望をいただいている。水路用地部分は砂利敷きで舗装はできないが、県に砂利の補充を要望している。



舗装を願う声があります



平間（ひらま）　康弘（やすひろ）　議員

Q 企業誘致に向けた町の政策を問う

A 県と連携した企業誘致を推進

問 **交渉中の企業へどのような提案をしているのか。また、現段階での交渉状況は。**

答 誘致企業に対して本町で用地買収を行い、造成後に誘致企業に売却する提案をしている。また企業立地に必要となる環境整備などへの協力を惜しまないことを伝えている。

問 **誘致までの課題や問題点は。**

答 地権者との用地取得の交渉やインフラ整備などに関わる費用、農地法や工場立地法などの法適用に基づく規制関係の課題など、造成までに相当な期間を要することである。

問 **企業誘致に対して今後取り組む政策は。**

答 地域の活性化につながることからも、これまでよりもフェーズを上げて取り組み、県と連携した企業誘致活動を推進する。さらにトップセールスにも取り組んでいきたいと考える。



企業誘致を期待したい

8月会議
8月3日

町議会議員補欠選挙執行に伴う
常任委員会委員の補充選任

８月会議では、７月12日の補欠選挙で当選した新議員２名の常任委員会委員の補充選任を行いました。

平間（ひらま）　俊博（としひろ）議員
（議席番号１・文教厚生常任委員会）

山本（やまもと）　由香里（ゆかり）議員
（議席番号２・総務常任委員会）



令和７年度決算報告

はなみちゃん家の家計簿に例えると？

令和7年度の「はなみちゃん家」の家計簿は、基本給与（町税）やご祝儀（ふるさと納税等）が増え、年収入は前年より36万円増えて553万円となりました。物価高や人件費上昇の影響で、食費や医療費、光熱水費などの支出も増えましたが、全体で536万円に抑え、約17万円の黒字となりました。

このやりくりの中で、子どもの学費や豪雨による浸水対策など、家族の安全と暮らしを守るための出費を優先して進めました。

一方で、医療費や生活必需品など、削ることが難しい「固定費」の割合が96.4%と高く、自由に使えるお金が少ない厳しいやりくりが続いています。それでも、ローンの返済を進めたことでローン残高（町債）は前年より約17万円（町全体で約5.1億円）減少し、将来に向けた家計の健全性はしっかり保たれています。

『物価高に負けず黒字をキープ！でもやりくりはギリギリ…？』

収入（歳入）

収入項目	令和7年度	令和6年度
基本給与（町税）	161万円	150万円
パート収入（分担金・負担金など）	23万円	22万円
貯金の引き出し（繰入金）	20万円	27万円
昨年からの繰越（繰越金）	7万円	11万円
親からの仕送り（地方交付税）	119万円	112万円
親からの特別な仕送り（国・県支出金）	169万円	165万円
銀行からの借り入れ（町債）	32万円	13万円
友人からのご祝儀（寄附金）	22万円	18万円
合　計	553万円	517万円

支出（歳出）

支出項目	令和7年度	令和6年度
食費（人件費）	95万円	89万円
医療費（扶助費）	99万円	98万円
ローン返済（公債費）	51万円	50万円
家の増改築（普通建設費、災害復旧費）	53万円	36万円
子どもの学費・仕送り（補助費、繰出金）	118万円	113万円
光熱水費、日用品の購入（物件費など）	89万円	84万円
家電、車の修理（維持補修費）	7万円	7万円
貯金など（積立金）	13万円	13万円
会社への出資（投資、出資、貸付金）	10万円	11万円
合　計	536万円	502万円

※上記の金額は、町の一般会計決算総額を3,000で割った額で、1,000円単位を四捨五入しています。



【決算概要】

令和7年度決算は、物価高騰などの影響を受けたものの、ふるさと納税や町税等の増により、一般会計の歳入は前年度比6・8%増の165億8660万円、歳出は同6・8%増の160億8174万円となり、実質収支は3億6735万円の黒字となりました。子育て支援や内水被害対策を進め、健全な財政運営に努めました。（町長説明要旨）

柴田町の財政分析

項　目	R7年度	R6年度	R5年度
財政力指数　【財政力】 町の財政の体力度⇒指数が高いほど財政に余裕がある	0.59	0.59	0.59
経常収支比率　【弾力性】 町の財政の弾力性⇒低いほど良い	96.4%	94.5%	93.8%
実質公債費比率　【借金返済割合】 収入に対して、町の借金返済額の割合	7.9%	6.7%	5.6%
将来負担比率　【財政圧迫度】 収入に対して、将来町が負担する借金などの割合	40.1%	54.4%	55.3%

審査意見書　令和7年度決算

監査委員はこう見る

代表監査委員　関場（せきば）　孝夫（たかお）
監査委員　桜場（さくらば）　政行（まさゆき）

令和7年度の行財政運営は、各種基金や補助金等を活用し、物価高騰対策や道路改良事業等に積極的に取り組んだ。

一方、一般会計・特別会計の収入未済額を踏まえ、負担の公平性と健全な財政運営を図るため、徴収対策を強化し収納率向上と自主財源の確保に努める必要がある。

また、経常収支比率の上昇により財政構造の硬直化が続く中、今後は資材費や人件費、社会保障費等の増加も見込まれる。

このため、事業の選択と適正な規模を十分に精査し、更なる行財政改革を推進することを求める。

える、まちの現在の姿

共工事・地域医療 ―



都市構造再編集中支援事業

3億8923万円
（内 国県支出金 1億9107万円）

賑わい交流拠点の形成に向けて、船岡城址公園整備は東屋、ロングベンチ、駐車場等の整備、町道船岡西7号線ほか整備事業は前年度の繰越工事も含め、歩道・車道の整備を実施し事業の推進を図りました。

新図書館整備事業については、発注に向けた建築・電気設備、機械設備の実施設計委託を実施し、スケジュールどおり事業を進めました。

スロープカー整備については、令和9年3月のリニューアルに向けて新車両及びレールの製作に着工しました。



令和9年3月スロープカーリニューアル予定

第2世代交付金インフラ整備事業

4億4552万円
(内 国県支出金2億2067万円)

都市構造再編集中支援事業により、都市機能の集約化や賑わいの創出を図るとともに、国の第2世代交付金事業を活用した、新図書館を核とする観光施設や歴史文化施設を整備します。そして新たな人と人との出会いと交流を生み出す、居心地の良い場をサードプレイス（第3の居場所）として整備します。

これらの施策を組み合わせることで、住民が安心して暮らし続けられる持続可能なまちづくりを実現します。



居心地の良いサードプレイスへ

新しい図書館や郷土館が、みなさんの学びや発見、夢を育む場所となることを願っています。柴田町の歴史や文化に触れ、ふるさとの魅力を知り、地域を誇りに思う心を育んでください。

「花のまちしばた」が、子どもからお年寄りまで笑顔で集い、世代を超えてつながる、希望あふれるまちになることを期待しています。



私も一言

上川名
加藤（かとう） 英司（ひでじ） さん

令和7年度決算から見

― 主な事業：大型公

地域医療事業　6億2475万円

- みやぎ県南中核病院企業団負担金　3億6560万円
- みやぎ県南中核病院企業団出資金　2億4201万円
- 仙南夜間初期急患センター運営費負担金　614万円
- 病院群輪番運営費負担金　638万円
- 休日急患当番医制事業委託料　321万円
- 休日歯科当番医制事業委託料　135万円　など

地域医療体制の充実を図るため、みやぎ県南中核病院を経営しているみやぎ県南中核病院企業団に対して、負担金及び出資金を支出しました。

また、平日夜間の初期救急に対応する仙南夜間初期急患センターや休日急患当番医等に関して広報紙や町ホームページなどへの掲載、チラシの全戸配布で情報発信を行いました。

みやぎ県南中核病院負担金の増額要因は

質疑　**みやぎ県南中核病院企業団出資金・負担金が大幅増となった要因は。**

答弁　構成市町で分担する負担金のうち、特に「救急医療負担金」の伸びが主な増額要因である。



1市3町の出資金や負担金などで運営されているみやぎ県南中核病院

私も一言

槻木白幡
國越（くにこし）　弘子（ひろこ）さん



高齢の両親と暮らしていた頃、みやぎ県南中核病院は夜間の急病にも対応してもらえました。必要な検査もできる病院として、何度もお世話になりました。自分自身が高齢者となった現在、入院や手術が必要となった場合に、仙台圏に行くことは負担が大きい。地元で十分な治療が受けられる医療体制があれば安心して生活できるのではないかと思います。

令和7年度 決算

決算 → 予算

まわせ！ 議会政策サイクル

決算審査特別委員会では、９月８日から15日までの日程で決算審査を実施しました。そのうち、９月９日から11日までは各課に対し、令和７年度の事業実績や成果に対する質疑を行いました。その主な内容を掲載します。

歳入

財政課

経常収支比率に対する町の見解は

質疑　経常収支比率96・４％に対する具体的な経常経費削減策は。

答弁　各事業の効果を検証した上で見直しを行い、経常経費の抑制に努めるとともに、人件費や公債費の適正管理を図りつつ対応している。

歳出

総務課

段ボールトイレの保管場所は

質疑　段ボールトイレ（購入300セット、総数401セット）の保管場所は。

答弁　優先避難所９箇所に均等配置しているが、総合体育館には多めに配置している。



災害への備えに

まちづくり政策課

ふるさと納税の実質寄附額は

質疑　ふるさと柴田応援寄附金の経費差引後の実質寄附額は。

答弁　寄附総額６億113万5千円のうち、52・36％にあたる３億3488万8千円が基金積立となる。

町民環境課

町営墓地の状況は

質疑　町営墓地（509区画）の返還状況と拡張・新規整備計画は。

答弁　毎年数件の返還墓地がある。その都度抽選を行い再貸与しているため、現時点で拡張・増設の計画はない。

町民環境課

マイナンバーカード交付状況は

質疑　マイナンバーカード交付数（前年比約２倍）が大幅に増加した要因は。

答弁　マイナンバーカードの交付から10年目（子どもは５年）の更新時期到来及びマイナ保険証への移行による申請が増加したため。


マイナンバーカードの更新をお忘れなく

福祉課

避難行動要支援者支援の状況は

質疑 75件の個別避難計画や情報提供同意者312名の情報は各行政区・自主防災組織等に提供されているのか。

答弁 各行政区・自主防災組織等へ情報提供を実施している。個別避難計画については行政区任せにせず福祉課が主導し、行政区・自主防災組織と連携して策定を進める。



自助・共助・公助による避難を

福祉課

民生委員の欠員による影響は

質疑 完全欠員となっている行政区で支障や問題は生じていないか。

答弁 完全欠員の区も存在しているが、令和7年度において大きな問題へ発展したケースは発生していない。

子ども家庭課

児童虐待の対応は

質疑 児童虐待対応110件における終結・継続の状況と事業成果の評価は。

答弁 14世帯19人が支援終結し、他は継続支援中。令和7年度に「こども家庭センター」を設置したことで切れ目のない継続的な相談体制が構築され、早期発見・早期支援の体制が強化された。



町では虐待防止講座が実施されています

農政課

有害鳥獣による農業被害の影響は

質疑 イノシシの捕獲頭数は過去最高となっているが、農業被害面積（84ａ）・被害額（65万9千円）が増加している要因と対策・効果は。

答弁 山林の木の実不足等などで有害鳥獣が里へ降りてきたことが要因。箱わな設置や被害情報に応じた設置場所の移動・巡回などの対応を強化している。

農政課

環境保全活動の今後は

質疑 13地区での環境保全活動（草刈り・泥上げ等）における高齢化・担い手不足に対する町の認識と今後の支援策は。

答弁 深刻に受け止めている。他町の広域事例等も参考に、柴田町に適した持続可能な手法を協議・模索していく。



地域に必要な環境保全活動

健康推進課

歯科健診受診率向上の取組は

質疑　歯科健診受診率が低い世代へのアプローチと歯科口腔条例制定後の効果は。

答弁　令和８年度から20歳の歯科健診受診料を無料化し、きっかけづくりを推進している。条例制定により医師会・歯科医師会等との連携が深まったため、これを生かして啓発を強化する。

都市建設課

桜の安全管理は

質疑　桜の樹木調査の頻度と危険度が高い樹木への措置及び今後の育成計画は。

答弁　白石川堤379本の樹木医診断を完了している。危険度の高い樹木（空洞化・キノコ発生等）の４本は巡回点検で重点チェックを行っており、剪定（せんてい）や安全管理を継続して実施する。



樹木医による桜の診断



遊ぶ場所の選択肢が増えています

子ども家庭課

児童館利用者減　要因と対応は

質疑　児童館の利用者が減少している要因は。町としてどう捉えているか。

答弁　少子化、中学校への進学による利用減、三名生公園の遊具設置による屋外利用の増加、町内外のサードプレイス（第三の居場所）の分散化などが要因。今後も居場所としての魅力向上に努める。

スポーツ文化振興課

子ども会の現状と対策は

質疑　子ども会加入率低下に対する支援・対応策は。

答弁　少子化やライフスタイルの変化が要因。他県の事例も参考に役員等と持続可能なサポート体制を検討する。



第13回柴田町子どもフェスティバル

総括質疑

令和７年度決算について、
その成果をどう判断したのか？



平間　幸弘（ひらま　ゆきひろ）議員

財政硬直化にどう向き合うか

質疑　令和７年度決算では、経常収支比率が96・４％となり、財政の硬直化が一段と進んだ。実質単年度収支も３億３４０１万円の赤字で、基金の取り崩しによる財政運営が続いている。

さらに、町債残高は１４３億円を超え、将来世代への負担も懸念される。

町長は現在の財政状況をどう認識し、今後どのような改善策を講じるのか。

答弁　物価高騰や人件費の増加に加え、社会保障関連経費や公債費の増加が財政を圧迫している。

一方で、学校施設や道路整備など将来を見据えた投資も進めてきた。今後は、事業の優先順位を見極めながら経費節減を図り、国県補助金の活用や自主財源の確保に努める。

また、公共施設の適正管理や事務事業の見直しを進め、持続可能な財政運営を図る。

令和7年度決算の評価を 令和9年度予算につなぐ

決算 → 予算

決算審査特別委員会の質疑を経て、委員間討議（ワールドカフェ）を開催し、決算に係る意見を集約、その後各分科会（常任委員会）に分かれ、各分科会が所管する内容を選択し、次の視点から意見をまとめました。

(1)　提言すべき事項について
(2)　決算の評価に係る事項について
(3)　議会で議論すべき事項について
(4)　委員会で調査・注視・質問すべき事項
(5)　議員個人で調査・注視・質問すべき事項

その結果、(1)～(3)の項目について、意見を見出すことはできませんでしたが、(4)～(5)の項目についてそれぞれ取りまとめましたので掲載します。

なお、(5)の項目については紙面の関係上、一部のみ掲載いたしました。





総務分科会

(4) 委員会で調査・注視・質問すべき事項
- 防災士・防災指導員の活用について
- 移住定住対策について
- 町有地の危険木について
- 出前講座における防災講座について

(5) 議員個人で調査・注視・質問すべき事項
なし

文教厚生分科会

(4) 委員会で調査・注視・質問すべき事項
- ヤングケアラー実態調査後のケアについて
- 児童虐待の対応と再発防止策について
- 児童館の対象人数把握と検討について
- こども家庭センターの周知と利用について
- 個別避難計画の情報提供同意者数推移について

(5) 議員個人で調査・注視・質問すべき事項
- 中学校３年生インフルエンザワクチンの接種率向上について
- 民生委員のなり手不足について
- スポーツ都市宣言の成果指標について
- 保育所民営化の周知について　など

産業建設分科会

(4) 委員会で調査・注視・質問すべき事項
- 町と柴田町シルバー人材センターとの情報共有について
- さくら育成管理事業（樹木点検、樹木台帳の作成、クビアカツヤカミキリ対策等）について
- 自転車駐車場管理業務の管理コストや利用状況に応じた管理方法等の見直しについて

(5) 議員個人で調査・注視・質問すべき事項
- 危険ブロック塀の撤去推進について
- 太陽の村の利用について
- 企業誘致について
- 通学路の補修・改善対策について　など

議案の審議結果及び概要

●審議結果

詳しい審議結果はこちら→

区分	件名	議決月日	表決者数(人)	賛成(人)	議決結果	平間 俊博	山本由香里	吉田 謙治	大橋 武彦	平間 康弘	笠松 均	吉田 清	小田部峰之	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	大坂 三男	佐々木裕子	髙橋たい子	広沢 真	白内恵美子	吉田 和夫	平間奈緒美
9月会議	諮問第1、2号　人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	9.1	17	17	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第9号　教育委員会委員の任命		17	17	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第10号　令和8年度旧槻木事務所解体工事請負契約	9.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第11号　和解及び損害賠償の額を定めること		17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第12号　町道路線の認定		17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第13号　町道路線の変更		17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第14～19号　令和8年度各種会計補正予算		17	17	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第1号　令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定	9.17	17	17	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第2～4号　令和7年度各種特別会計歳入歳出決算の認定		17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第5、6号　令和7年度各種会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定		17	17	可決・認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第20号　令和8年度一般会計補正予算		17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成の意思を表さないことを表す。　※「議」は表決時に議長のため表決に参加していないことを表す。

●出欠状況

詳しい出欠状況はこちら→

区分	件名	月日	表決者数(人)	平間 俊博	山本由香里	吉田 謙治	大橋 武彦	平間 康弘	笠松 均	吉田 清	小田部峰之	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	大坂 三男	佐々木裕子	髙橋たい子	広沢 真	白内恵美子	吉田 和夫	平間奈緒美
８月会議	常任委員会委員の補充選任	8.3	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
９月会議	町政報告、議案説明、議案採決（人事案件）	9.1	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9.2	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9.3	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9.4	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案審議（補正予算等）	9.7	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和７年度各種決算上程	9.8	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査特別委員会	正副委員長の互選、委員間討議	9.8	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	早	○	○	○	○	○	
	令和７年度決算認定審査	9.9	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	
	令和７年度決算認定審査	9.10	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	
	令和７年度決算認定審査	9.11	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	
	令和７年度決算認定審査（委員間討議）	9.14	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	
	令和７年度決算認定審査（委員間討議、まとめ）	9.15	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	
９月会議	令和７年度決算認定採決　追加議案、陳情	9.17	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。　※議長は決算審査特別委員にはならない。　※「監」は監査委員として出席。

9月24日

18歳選挙権導入から10年　仙台大学で「主権者教育」を実施

18歳選挙権の導入から10年が経過したことに加え、仙台大学からの依頼により、地方自治の仕組みや議会の役割を知ってもらう「主権者教育」を実施しました。

当日は、仙台大学体育学部の1年生約550人を対象に、20分×2コマの講座を開催。議長と副議長が主権者としての責任や地域政治について語りかけ、学生の皆さんの理解を深めました。







参加した学生から

〈感想〉

- 講演やスライド解説を通じて、普段なじみの薄い議会活動や取組を知る良いきっかけになった。
- 小学生の頃に地元の議場を見学した経験を思い出し、改めて議会に関心を持った。

〈まちづくりへの意見・要望〉

- スポーツ関係の環境や取組をより充実させてほしい。
- 町内の傷んだ道路について、整備や修繕を進めてほしい。

常任委員会リポート

見て！聴いて！動く！

各常任委員会が、担当課への調査や行政視察を通して確認した町の現状や課題を報告します。

より良い町を目指して

総務常任委員会　地域を守る『人』を、どうつなぐ

担い手不足に挑む　～ 所管事務調査×「機能別消防団」の先進地視察 ～

地域防災を支える担い手不足は、消防団だけでなく、交通指導隊や防犯実動隊などにも共通する課題です。総務常任委員会では町内の現状を調査し、埼玉県戸田市・小鹿野町の「機能別消防団」を視察しました。

所管事務調査　6月22日・23日

町内で確認した「人」と「拠点」の課題

- 地域おこし協力隊の卒隊後を見据えた、町内での定住・就労支援。
- 交通指導隊は条例定数35人に対し、実員23人。実態に即した定数の見直しを検討。
- 学生隊員の採用や、交通指導隊・防犯実動隊の定年延長など、多様な人材確保策。
- 耐震補強されていない地区集会所について、財政状況も踏まえた早期対応。

350人→ 300人 → 250人
消防団の条例定数の推移



行 政 視 察　7月27日・28日



小鹿野町

戸田市

- 市職員を含む機能別分団を運用。新規職員への説明会を行い、3年間活動するサイクルを構築。

小鹿野町

- 地元支援団員・本部特別分団・女性部・ラッパ班など、役割に応じた区分で多様な人材が参加。

役割を分ける → 参加のハードルを下げる

調査を町政へ

人が減っているから活動を縮小するのではなく、「できる人が、できる役割で参加できる仕組み」をどうつくるか。担い手確保と地域拠点の安全確保を、両面から引き続き検討します。

NEXT　今後の活動計画

1 機能別消防団を検討
戸田市・小鹿野町の事例を踏まえ、役割を限定した参加の仕組みをさらに調査します。

2 地域の担い手を確保
交通指導隊・防犯実動隊、地域おこし協力隊など、人材確保策を継続して検討します。

3 防災拠点の安全確保
地区集会所の耐震化など、地域防災拠点のあり方を引き続き注視します。

4 具体的な提言へ
調査結果を整理し、「地域防災・減災力の向上」につながる具体策を検討します。

見て！聴いて！動く！

を通して確認した町の現状や課題を報告します。

を目指して

文教厚生 常任委員会　子どもたちの選択肢を、もっと広く

掛川市・磐田市に学ぶ　部活動「地域展開」のその先へ

少子化が進む中、学校だけで部活動を維持することが難しくなっています。文教厚生常任委員会では、こども家庭センターの支援体制を調査するとともに、地域展開について、学校現場との意見交換を行い、静岡県掛川市・磐田市の先進事例を現地視察しました。

所管事務調査　7月24日

こども家庭センター

- 令和7年4月に設置。課を超えた横の連携や専門的な意見交換により、支援を検討できる体制を確認。
- 一方で、社会福祉士など専門職の人材確保が課題。

団体懇談会　7月29日

地域展開に向けた「8つの課題」

- 学校現場の実態把握
- 教職員の関わり方
- 質と安全の確保
- 文化系クラブ・広域連携
- 学校・行政・地域の連携
- 地域クラブの運営体制
- 指導者不足・人材確保
- 具体的な制度設計



行政視察　7月13日・14日



掛川市



磐田市

掛川市

令和8年度夏から休日・平日を問わず地域クラブへ一括移行。

部活動14種目
→ 39種目・102クラブ

地域クラブサポートセンターを設置。

磐田市

令和8年9月から休日の部活動を地域展開。令和13年度に平日を含む完全地域展開を目指す。

既存部活動型＋地域多種目型

人材バンクで大学生や地域住民も指導者に。

柴田町で目指す方向

令和10年度から休日の部活動の完全地域展開を進める方針を踏まえ、休日だけでなく平日も視野に、運動部と文化部を並行して検討することが重要です。既存の部活動の枠にとらわれず、指導者確保と子どもたちの選択肢を広げる仕組みづくりが求められます。

NEXT　今後の活動計画　令和10年度を見据えて

1 休日＋平日を視野に
休日の完全地域展開を軸に、平日も視野に入れた体制づくりを検討します。

2 運動部＋文化部を並行
既存の部活動だけに限らず、子どもたちの幅広い活動機会を確保します。

3 指導者・費用・安全
指導者確保、費用、移動、安全管理など実施上の課題を具体的に整理します。

4 学校・行政・地域で連携
役割分担と運営体制を明確にし、地域展開に向けた準備を進めます。

常任委員会リポート

各常任委員会が、担当課への調査や行政視察

より良い町

産業建設常任委員会　桜を『植える』から『育て継ぐ』へ

小諸市・須坂市に学ぶ　100年先を見据えた桜の育成・管理

桜は、植えれば終わりではありません。老化や病害虫、土壌環境への対応、そして技術を次の世代へどう継承するかが重要です。産業建設常任委員会では、町内のため池の現状を調査するとともに、長野県小諸市・須坂市で『桜』の育成・管理を視察しました。

所管事務調査　7月23日・24日

利用が少なくなった「ため池」をどうする

- 老朽化が進み、農業用としての利用実態が少なくなっている「ため池」も含め現地調査。
- 利用が少ない「ため池」について、廃止の方向も含め、関係者と今後の取扱いを協議する必要があることを確認。
- 委員会として引き続き、この課題を注視していく。



行政視察　7月7日・8日

小諸市　「小諸八重紅枝垂（こもろやえべにしだれ）」を次代へ

- 接（つ）ぎ木による増殖や、「ひこばえ」を活用した世代交代を実践。
- 土壌改良、根の保護、病害虫対策など、現場で技術を継承。

須坂市　ガイドラインと管理台帳で「一本ずつ」

- 「桜の維持管理ガイドライン」に基づき、強剪定（きょうせんてい）・土壌改良・病害虫対策を計画的に実施。
- フェロモン剤の設置により、コスカシバの被害率を58%から1.4%まで低減。
- **すべての桜に番号を付け、管理台帳で一本ごとの状態を把握。**



小諸市



桜の伐採後に大きく成長した「ひこばえ」（中央）
（左下の切り株がソメイヨシノの親木）
※「ひこばえ」とは、樹木の切り株や根元から生えてくる若芽や若枝のこと。

調査を町政へ

剪定（せんてい）や土壌改良、接（つ）ぎ木、病害虫対策といった技術だけでなく、専門家の配置、管理台帳の整備、町民やボランティアとの協働まで含めた「持続可能な管理体制」が重要です。「柴田町の桜を次世代へつなぐ」仕組みづくりにつなげます。

NEXT　今後の活動計画

1　桜の管理技術を生かす
剪定（せんてい）、土壌改良、接（つ）ぎ木、病害虫対策を柴田町でどう生かせるか検討します。

2　管理台帳と専門体制
桜一本ごとの状態把握と、専門家を含む持続可能な管理体制を検討します。

3　町民と一緒に守る
町民やボランティアとの協働や、桜を「町の宝」として伝える情報発信を考えます。

4　ため池も継続調査
老朽化や利用実態を踏まえ、廃止も含めた今後の取扱いを引き続き注視します。

サークル紹介

町内で活動しているサークルを紹介します

陽だまり　卓球愛好会

陽だまり卓球愛好会は、硬球白色の40ミリのボールで練習しています。

40数年の長い歴史があり、数々の大会にも参加しました。

現在でも、仙台シニア大会など多くの試合に参加しているメンバーもいます。

現在、男性5名、女性10名の合計15名で構成されています。

少しずつメンバーも年齢を重ね少なくなってきましたが、少人数でも楽しく愉快に練習やゲームをやっています。

年齢構成は、50歳代から80歳過ぎで皆さん汗をかきながら元気に明るく爽やかにプレーしていますよ。

体を動かすことが好きな人や卓球に興味のある方は、ぜひ見学にお越しください。お待ちしています。

柴田町体育協会にも加入しています。





【練習日】　毎週火曜日・土曜日
【時　間】　9:00～12:00
【場　所】　船迫生涯学習センター
代表　札木（ふだき）　道代（みちよ）

編集を終えて

秋が深まり、柴田町の街並みや蔵王連峰を望む風景も鮮やかな紅葉に包まれる季節となりました。

本号（第194号）では、令和7年度決算の審議模様を中心に特集いたしました。町民の皆様からお預かりした貴重な税金がどのように生かされ、まちづくりに結実したのか、審議のリアルな熱量とともにわかりやすくお届けできるよう編集委員一同で推敲（すいこう）を重ねました。

日ごとに寒さが増し、冬の足音が近づいてまいります。どうぞお体に気を付けてお過ごしください。

今後も皆様の暮らしに寄り添い、より親しまれる「議会だより」を目指してまいります。ご意見やご感想をぜひお聞かせください。（平間　幸弘）

議会広報常任委員会

委員長　小田部峰之　　委員　笠松　均
副委員長　大橋　武彦　　委員　吉田　清
委員　吉田　謙治　　委員　平間　幸弘
委員　平間　康弘

第14回 しばた曼珠沙華まつり



まつり開催セレモニーでの一場面。
ゆずさんのおもてなしが華を添えました。

12月会議の予定

12月会議は **12月7日(月)**
午前9時30分開会予定

※詳しくは町議会事務局（℡0224-55-2136）へお問い合わせください。

議会からの情報発信

柴田町議会の活動を発信しています。ぜひご覧ください。

このしばた議会だより194号は、約16,800部作成しています。1部当たりの経費は約103円です。

発行　宮城県柴田町議会　編集　柴田町議会広報常任委員会　宮城県柴田郡柴田町船岡中央二丁目3番45号　℡（〇二二四）五五ー二一三六　印刷　㈱伊藤印刷